



仲間と共に

令和3年度 <三輪南小 学校だより> 令和3年8月30日



安心できる学校生活を目指して

校長 小野木 義浩

一足早く学校に届いた作品や研究をみたり、出会った子供たちと話したりすると、多くの子が「何か夢中になって取り組む夏休み」を目指して頑張った様子が目に浮かんできました。

さて、この夏休みを振り返ると、オリンピック・パラリンピックの開催とスケボー競技に見られるように若い世代の活躍、久しぶりの夏の高校野球、猛暑、大雨などによる大災害、お盆過ぎからの新型コロナウイルス第五波の到来など、思わず笑顔になるような印象的な出来事や心配でつらい状況がいくつもあったように感じました。そして、現在は、岐阜県は緊急事態宣言が発出されています。デルタ株が若年層にも爆発的に広がっていることから、この状況下で始まる夏休み終了後の学校生活が心配という報道がありました。岐阜市立小学校では、市の方針を受け、さしあたって8月30日～9月12日までの学校生活を、地域や学校の実情に合わせての「夏休み終了後の学校の対応」として決定しました。岐阜市の対応の柱は、①子供の生命の安全を最優先 ②できる限り「子供の学びを止めない」ように工夫の2点です。そして、岐阜市の夏休み後の対応は「分散地区別登校+オンライン授業のハイブリット方式」で実施することになりました。

それを受けて、三輪南小学校では登校する場合は・・・

期間中は午前中4時間の授業を実施し、給食を食べたあと全学年13：45に下校。

※午後からは、家庭で学習に取り組める課題を提示。オンライン授業の児童にも、昼からの課題を同じように示します。「できるだけ楽しい内容、意欲的に取り組める課題」

やり方；地区別に2つに分けます。

Aグループ（太郎丸・福富方面：黄・緑・金・青）

Bグループ（石原・三輪団地・茂地・春近古市場・中屋・森・世保・溝口：赤・紫・桃）

期間中の第1週はAグループが、月・水・金に登校し、Bグループが火・木に登校する。

第2週は、Aグループが火・木に登校し、Bグループが月・水・金に登校します。

原則として、家庭の都合で自宅に1・2年生（3年以上の兄弟がいない場合）が一人ぼっちになる場合は、毎日の登校を許可しています。（子供の送り迎えと昼食の用意は保護者の責任でお願いしています。）また、家庭の方針で、登校に不安を感じる家庭は登校しないで自宅でオンライン授業の参加も可能とし、出席としています。

学校のはじまりが、イレギュラーとなります。子供たちは顔や口に出さなくても、不安を抱えながら、登校したり自宅で学習したりしているということをわたしたち教職員はもちろん、周りの大人が認識し、子供たちに寄り添って関わっていくようにしていきます。どうぞご協力をお願いいたします。ご心配がありましたら、気軽に学校までご相談ください。

これからの学校生活の中でクラスターが起らないようにするための注意点

☆大切な家族や友人にうつさないためにマスクの正しい着用（鼻と口をマスクの中に）

☆活動場面がかわるごとの手洗い・消毒の徹底 ☆食事中の「黙って食事」の徹底

☆「密」を避ける意識の向上。「三密」ではなく「一密」を避ける。

☆子供も職員も、体調が悪い場合、熱がある場合は決して無理をしないで休む。

